

## 〔研究事業について〕

## 1. ねらい

本県が当面する教育上の課題や、学校の教育実践上の問題点をとりあげて、全国的研究の動向をふまえながら、その解決のための基礎的研究を行い、学校経営や学習指導の改善に寄与する。

## 2. 研究主題・内容・方法

## (1) 学校経営の改善に関する研究

学校経営改善に関する研究の一環として52年度は、「学年・学級経営に関する研究」を行った。この関連において53年度は学校経営評価のあり方を明らかにし、経営改善のための資料を提供する。

- ・アンケート方式による実態調査
- ・訪問による調査収集

## (2) 授業分析と評価に関する研究

授業の充実を志向するには、教師の指導力を向上させるとともに、授業そのものの質的改善を図らねばならない。53年度は三ケ年研究の第一年次として「授業の実態と問題点のは握」「授業分析の方法」等につき研究する。

- ・実験学校を委嘱し、研究協力員による実証授業を実施する。

## (3) 福島県診断学力検査問題の研究

当教育センターの学力検査問題を継続して検討しながら、県内の小学校児童の学力の実態をは握してその変容をとらえ、教育課程や学習指導改善のための資料とする。

- ・当教育センターの検査問題による学力の実態は握と検査問題の改訂作業

## (4) 教育相談に関する研究

教育センターに来所して相談を受けるケースを分析し、幼児・児童・生徒の問題傾向をは握して、その診断、治療のあり方を研究するとともに、学校における教育相談の援助のための資料を提供する。

52年度は、教師に対して「スクール・カウンセラー・テスト」の調査研究を行い、いくつかの相談場面を設定し、それぞれの反応の実態をは握したので、53年度は、教育相談的教師のあり方について、事例をふまえながら研究を進め、資料を提供する。

## 〔教育相談事業について〕

## 1. ねらい

幼児・児童・生徒の教育上の諸問題について、学校ま

たは親から相談を受けた場合、その望ましいあり方について、臨床心理学や、科学的な理論及び方法により、解決のための援助をする。

## 2. 内容

52年4月より12月末までの相談件数は、下の表の通りである。

相談件数

内 容	対 象	幼 児	小 学 生	中 学 生	高 校 生	一 父 教 師	計
知 能・学 業		40	63	23	3	—	130
性 格・行 動		151	146	118	53	4	494
身 体・神 経		1	43	33	52	2	135
進 路・適 性		—	—	—	—	16	16
教 育 一 般		—	—	—	—	1	58
計		192	252	174	108	7	834

## 3. 方法

- (1) 申し込みは予約制とするので、早めに教育センターに申し込まれること。電話(0245)53-3141
- (2) その他、遠隔の方には書信や電話相談に応じる。
- (3) 対象は、幼児から高校生程度までとする。

## 〔情報図書・資料について〕

## 1. ねらい

県内教職員の教育実践活動が効果的にすすめられるよう、教育の専門図書及び教育資料の収集につとめ、文献や資料の相談に応じるとともにあつせん、提供をおこない教職員の研究、研修活動の援助をする。

## 2. 内容

## (1) 教育図書・資料の収集整備

52年12月末現在、教育図書—16,472冊、教育資料—12,697冊、教科書—8,100冊を蔵し、月刊教育関係雑誌—70点を整備している。

53年度も、今年にひきつづき全国の教育センター、研究所、大学、研究団体、各学校の研究物の収集につとめるが、特に教育課程の改正にともなう資料の整備に努力する。

## (2) 教育図書、資料の貸出し

教育図書、資料は広く県内教職員の活用に供している。1人2冊、3週間を限度に貸出しており、資料のコピー等のサービスを行っている。

## (3) 教育センター所報等の発行

所報は52年度同様な年間5回発行の予定である。教育センターにおける研究・研修・相談等の成果を紹介するので、ご活用いただきたい。